

Operation Raleigh News

Operation
Raleigh

DENSO

No.27

昭和62年(1987)1月5日(月)
毎月1回発行●発行所 オペレーション・ローリー日本委員会
〒104 東京都中央区築地1-7-10 築地オーミビル502号
電話 東京(03)544-7413

●このオペレーション・ローリーニュースは日本電装株のご協力で作されたものです。



'87年メッセージ

ORJCオペレーション・ローリー
日本委員会委員長 永井道雄
(国連大学学長特別顧問)

この春の日本フェイズを含めて、オペレーション・ローリーはいよいよ最終局面に入ろうとしています。ORJCでは、これまで60人の日本代表青

年を参加させてきましたが、さいわいにも皆元気に活躍し、現在参加中を除いて全員無事帰国しています。

「科学・奉仕・冒険」という一貫したテーマのもとに、世界各国を巡り、日本をふくむ世界の若者たちが共同の作業や活動を体験するこの企画は、早くも4年目を迎えており、日本国内でも各方面からご注目いただくようになっています。とくに本年は日本フェイズが4月～6月の予定で北海道知床、本州東海自然歩道、沖縄

西表島などを主な活動地として展開されます。海外から160名の青年たちやリーダーたちを迎え、さまざまな人々の交流が期待されています。多くの方々にいろいろな形でお世話になることでしょう。ORJC発足以来もっとも多忙な時期になると思われるこの春をめざして、なお一層心を引き締め、全力をあげて取り組みたいと思います。どうぞこれまで以上のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

1987年 今年も全力でがんばります。

日本

1987年を迎え、オペレーションローリー活動は今年で4年目。日本人ベンチャーも既に60名が世界各地で活躍し、新たに3期生30名が出発をひかえています。特に今年はいよいよ日本を舞台に活動が展開し、日本人ベンチャーOBをも含めた関係者一同、その成功にむけてスタートを切りました。懐かしい顔から新しい顔まで代表青年たちがそれぞれの決意や夢について語ったメッセージをご紹介します。

1984年次代表青年

日本フェイズの成功をお祈りします。
橋本かおり

去年は社会人一年生として、目の前の出来事に追いまわされた感じの一年でした。ORの日本フェイズの開催を楽しみにしています。

田中正信

昨年を土台にして既存の分野や未知の分野にかかわらず精進を続けるよう励みます。

吉田靖

冒険心は失うまいぞ。多様性の理解に努め、getting better を目指し未来へ向って克己する限り、対立を超えて個性を生かして協力できる。純粋無垢にありのままに在ることを信頼しつつ、すべての中へ。

小俣博泰

やりたいことは、いくらでもあって、どれから手をつけてよいやら。万事流れるままに、いつもどおり楽しく過ごせればそれで十分です。

堀内一秀

現在は医師になるべく勉強中の身です。今年目標は当面その勉強ですが、人の痛みを痛む心を持ち、健康な体をつくることに努めます。

今田恒夫

日本フェイズのメンバーと禅寺で東洋思想を語り合うのもよいのではないのでしょうか？

片岡理智

1985年次代表青年

ORで得たすばらしい人間関係を大切にしていきます。

青柳なお子

Our Adventure never ends.

放電の輝きを世界に。大らかに生きる心意気であらゆることを再吸収したい。

高野孝子

年女の今年、ORで幕が開くまことにめでたい年です。

岩崎靖子

NZで20代初めての冬(夏?)を思いっきりエンジョイしてきます。

杉浦香代里



年男の今年、生まれて初めての異国で迎える正月です。自らの可能性と才能を、あらゆる面から引き出せたらと思っています。

井田浩二

『必要なのは、愛と勇気と Some Money』(確かチャップリンの言葉だと思います。) 高田義隆

ORに参加して身のまわりにも世界にも、今まで気づかずに見すごしていた事柄に多様な価値があることを知りました。異なるものを受容する心を持つこと、他人の立場に立ってものを考え行動することの大切さも痛感しています。日本が舞台となる今年、微力ながら協力させていただきます。四季の美しさや人情の細やかさなど本当の日本を世界の人たちに知ってもらうためにも、成功を祈っています。

福井健

個人的には学校が忙しくなりそうなの1年ですが、日本フェイズにも時間を見つけて参加したいと思っています。

加宅田和彦

1986年次代表青年

まず相手に自分の考えを伝えるために、英会話の特訓を開始します。それと体力トレーニングにも励んでいます。パキスタンの宗教や歴史についても勉強するつもりです。世界の仲間へ日本独自の文化を伝えるためにあれこれ思案中です。以上するべきことが多すぎて大変なのですが皆さんに負けずに力を蓄えてパキスタンで爆発したいです。

高橋央美

1986年はORを知り、多くの人とめぐりあい語りあう機会を得た素晴らしい一年でした。今年はいよいよアフリカへ行きます。その経験で僕自身を成長させるために、精一杯頑張ります。

江頭英雄

『何をするにしても楽なことなどないのだから、何にでもチャレンジしてやろう。』という精神で今年も頑張

りま
自
な何
I
は勇
I
tha
とっ
に。
中
ギに
いと
に
した
七
に負
てし
出
いた
夢
一身
の
第一
身
ぶ様
に
常
て
レン
ま
息
成
目
とっ
て
達
に
準
ひ
て

チリ→南太平洋→オセアニアへ冒険の旅続く

1986年度OR活動はチリに始まり、ニュージーランドまで。その活動風景を参加青年たちが撮影したカラー写真でご覧ください。



①



②

- ① 氷河が海に流れ込む(チリ)
- ② 船旅の途中に記念撮影(チリ)
- ③ 楽しい野外パーティー(ソロモン)
- ④ オフ・ロード車で出発(オーストラリア)
- ⑤ 現地の人々と(パプアニューギニア)
- ⑥ カヌーでの旅(オーストラリア)
- ⑦ 力を合わせて橋づくり(パプアニューギニア)
- ⑧ アボリジニーの人々と(オーストラリア)



⑦



③



⑤



④



⑥



⑧

デンソーワールドワイドオペレーションNo15

イギリス

英国版。
“古いクルマ”の呼び方。



NIPPONDENSO (U.K.) LTD.



(Roycraft House 2F)

日本では古いクルマのことを「クラシックカー」と呼びますが、イギリスにはこんな言葉はありません。分類が大変細かく、1904年までのクルマは「ベテランカー」、1905年から1914年までを「エドウォーディアン」、1917年から1930年までを「ビンテージカー」と言います。カーエレクトロニクスをはじめ、新技術導入により、自動車はめざましい進歩を遂げました。英国人の“足”をもっと楽しく、快適に走らせるため、日本電装の技術はここでも生かされています。

NIPPONDENSO (U.K.) LTD.

所在地: 15, Roycraft House Linton Road,
Barking Essex IG11 BHG, England.
従業員数: 15人



〒448 刈谷市昭和町1-1 ☎(0566)22-3311